



東丘小だより



令和3年(2021年)6月4日発行 第5号

校長 大森 恵子

学年	1	2	3	4	5	6	合計
児童数 6/4 現在	111	132	83	104	84	102	616

6月6日は創立記念日です。56周年を迎えます。

保護者の皆さま、地域の皆さまのご協力、ご支援をいただき創立56周年を迎えます。

1962年に千里ニュータウンが街びらきをし、1966年東丘小学校が開校、同年5月28日に東町団地の入居がスタートし、6月6日が創立記念日になりました。

開校時、児童数は57名でした。1986年ごろから児童数が増えピーク時には1,422名(昭和50年)になりました。やがて少子、高齢化の時代を迎え、1978年ごろから次第に減少しはじめました。「(東丘小学校)創立50周年記念誌」より 現在は、新千里東町の再開発とともに児童数も増加しています。この間、本校の卒業生は総数5,508名、卒業生の中には、お子様も東丘小学校に通われているという方もおられます。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましても学校創立記念日を機会に引き続き、本校の発展を願っていただければ、幸いです。今後も本校の発展に向け、教職員一同、精一杯力を合わせて努力してまいります。これからもよろしくお願いいたします。

熱中症予防について

これから蒸し暑い梅雨、そしてガラガラと暑い夏が始まります。「新型コロナウイルス感染症対策」と同時に、熱中症予防対策が必要となります。マスクをつけて生活していることで、例年以上に熱中症のリスクが高く、より注意が必要となります。本校では、熱中症予防として次のような対策を行っております。

①エアコンの使用

②こまめな水分補給(登校後・20分休み・昼休み・体育の時間等)

→(水筒持参)水筒の中身は、水、茶だけでなく、スポーツドリンクや経口補水液も可とします。

③室外遊びや外清掃の制限

暑さ指数をWBGT指標計で計測し、全職員に知らせるとともに、校内放送等で注意を呼びかけたりします。

→気温35度以上を超えたとき、超えそうなときは、原則、室外遊び中止 ※裏面:「熱中症予防運動指針」参照

「笑顔あふれる学校」

先日、ある学級の授業で思わずたち止まり、聴きいてしまいました。道徳の授業です。「ケンカしたら、どうするのか、どうしたら仲直りできた?」という学級担任の問いかけに、子どもたちは、「一緒に遊んだら仲直りした。」「相手の気持ちになって考える」という人もいました。さすがです。その後です。「一緒に笑う。」「笑って仲直りした。」と何人もの意見です。そうなんです「笑う・・・!」

子どもたちはこうやって、どんどんいろんなことを学び、人と関わり、強く大きくなっていくのです。許すということ、自分の行動を振り返り、悪かったなと思うことは素直に謝ること、気持ちを切り替えていくということ・・・もちろん、いき過ぎた行いのときなどは、立ち止まって考えることが必要です。

子どもたちにとって大切なことは、自分で問題を解決する力をつけることです。子どもたちが大人になった時に問題を自分でどうやったら解決できるのか。これからどう行動するかを考えます。子どもたちが出した結論、子どもたちが自分なりに考えて・・・仲直りしたいのか?あやまりたいのか?仲よく遊びたいのか?

ずっと泣いていたいのか?ずっと怒っていたいのか?

答えが出てくると思いますので、その答えを聴いて、私たち教職員も一緒に考え、子どもたちをサポートしていくことが大切な役割と思っています。

子どもたちの持っている素直な気持ち、力に感心したひと時でした。すごいですね。改めて笑顔いっぱいの東丘小学校でありたいと願いました。



創立50周年記念の時のキャッチフレーズとイメージキャラクター「陽がし丘SUN」です。今も正門や運動場などで子どもたちに親しまれています。

水分補給とともに、マスクをはずして静かに呼吸を整えます。



地域見守りシステム「OTTADE!」

地域見守りシステム(OTTADE!)関西電力が提供する見守りシステムが豊中市内の小学校で順次導入されています。本校では、10月導入が予定されています。導入に向けての準備が始まります。詳細については、後日お知らせいたします。

東丘小学校 校庭開放(放課後の子どもの居場所づくり事業)について

安心安全な遊び場(地域の公園のように活用してください)

子どもたちが、安全で安心して豊かな時間を過ごすため、校庭を開放し、子どもが遊び居場所となる活動場所をつくります。自主的な遊びを通して子どもの育ちを支援することを目的とします。事業主体は豊中市教育委員会です。放課後遊びは、学校の教育活動外になりますので、教職員の見守りはありません。各家庭のご判断で放課後遊びに参加させてください。万ヶケなどがあってもスポーツ振興センター(保険)の適用外になります(軽いケガ等の応急処置はいたします)。事業実施時や自宅から校庭(運動場)の行き帰り中に怪我をされ、医療機関で受診された場合は、下記にご連絡ください。「普通傷害保険」を適用します。

お問い合わせ先 豊中市教育委員会事務局 学び育ち支援課

企画係(TEL 06-6858-2576)

見守り(監視員)

子どもたちが安全で安心して遊べるよう、見守ります。見守りは、基本2名で行います。

ただし、この見守りは地域の方のボランティアで協力していただいています。

全児童対象です。

対象は東丘小学校1年生から6年生全児童です。

一度帰宅してから遊びます。一旦、帰ってから遊びに来るときは、徒歩です。自転車やキックボードなどは禁止です。

受付簿に検温チェックをして名前・学年・組を記入後、運動場で遊びます。

帰宅は、それぞれの子どもたちで帰宅します。途中で帰るときは、受付簿の自分の名前の横に帰る時刻を記入します。最終校庭開放時刻は16時30分です。

校庭(運動場)で実施します。

給食実施日の放課後に東丘小学校 校庭(運動場)で行います。

雨天時は実施しません。(雨天後、運動場の状態が悪い時も)

実施時間

15時30分から16時30分(水曜日15時から16時30分 受付は15分前から)

※16時30分には片付けをすませて、45分には校門から出られるようお願いいたします。

注意事項

- ① 校庭(運動場)で遊ぶことと帰宅時間を必ずお子様と確認しておいてください。
- ② 事前にお子様の検温を済ませてください。発熱や風邪症状などがある場合や体調がすぐれない場合には、参加しないようにお願いします。
- ③ マスクを必ず着用(持参)してください。
- ④ 手洗いのための手拭き用のハンカチやタオル等を持参してください。
- ⑤ ボール等遊具の持ち込みはできません。学校にあるもので遊びます。持ってきたものは、受付で預かります。
- ⑥ おやつは持ってきてません。

帽子・水筒も忘れずにね

